

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	普通科	キャリアコース	工芸Ⅱ	2	辻
担当者(担当クラス)		6組7組			
この科目を履修するための条件や準備					
日頃より芸術・工芸に関心を持ち観察するよう心がける。					
この科目のねらい 目標					
工芸の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める。					
具体的な指導方法					
板書し本時行うことを確認、理解させる。制作開始時見本としてデモンストレーションを行う。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
工芸Ⅱ 116 日文・工Ⅱ 301					
評価方法					
学習活動への参加状況や態度、作品の提出					
年間授業計画					
Ⅰ. 1学期中間考査まで					
現代社会における工芸の立ち位置を理解しこれからの工芸について考える。 使用する道具の正しい知識の習得。映像を用いて理解を深める。→4、5月の自宅課題と1学期末考査後の補充授業で対応する。					
Ⅱ. 1学期期末考査まで					
用途と実用性を考え集中して取り組む。 ・籠を編む(籐籠の制作)					
Ⅲ. 2学期中間考査まで					
使いやすさ、デザイン性、接着剤を使わない組み立て式の家具の制作。 ・机の制作、棚の製作					
Ⅳ. 2学期期末考査まで					
使いやすさ、デザイン性、接着剤を使わない組み立て式の家具の制作。 ・机の制作、棚の製作					
Ⅴ. 学年末考査まで					
1・2学期の学習の総まとめ。制作した作品の鑑賞、自己評価					